CTA大口径望遠鏡(LST)初号機は、2017年11 月のfirst lightを目指し、スペイン領カナリア諸島ラパルマ島にて基礎工事がほぼ完了した。日本グループは、主に光学系と焦点面カメラ要素開発の責任を担い、初号機用の全数品質検査・統合試験を終え、サイトへの輸送の準備を整えている。その他、名古屋グループによる小口径望遠鏡(GCT)の焦点面検出器開発への貢献や、またCTAが狙うキーサイエンスをまとめた冊子が出版予定となっている。